



『人類に奉仕するロータリー』 Rotary Serving Humanity

RI会長 ジョン・ジャーム 第2590地区ガバナー 高良 明

川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA R.C. WEEKLY/2016~2017

会長・戸張 裕康 幹事・都倉八重子 会場監督・江口 進 会報委員長・小泉 正博

事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104

TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rc.com

◆例会場 ホテル精養軒 第1・第3木曜日 PM12:30~ 第2・第4木曜日 AM7:30~ TEL.044-711-8855

第1403回 (本年度41回)

平成 29年 6月 1日(木)

ロータリー親睦活動月間

点 鐘

戸張 裕康 会長

司 会

工藤 和弘 会場監督

唱 和

「君が代」「奉仕の理想」

会員お祝い

山本 剛 副会長



お誕生日
おめでとうございます♪

◆渡久地 政房会員

(S. 39. 6. 22 生)

会員出席報告

神谷 直 出席・親睦委員

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	28名	21名	7名	77.78%
前々回(5月18日)	欠席 7名	Make up 1名		92.00%

(欠席者) 今井会員、小林会員、坂本会員、坂口会員
高木会員、渡久地会員

ニコニコ報告

神谷 直 出席・親睦委員

◆戸張 裕康 会長・都倉 八重子 幹事

先日の30周年記念式典には皆様にご協力をいただき有難うございました。本日はクラブ協議会です。退任挨拶を含めたものですので宜しくお願い致します。また同時に、青少年交換学生受け入れについても皆様のご意見を頂ければと思っています。

◆都倉 八重子 幹事

日曜日、早慶戦の応援に、娘の学友と共に行って参りました。応援団長の指示に従いハリセン持参で「紺碧の空」を大合唱!!! 12対6で勝利したし、日頃のストレスも発散できた良い一日でした。幹事のお役目も残り2回ですが頑張ります。

◆山本 剛 会員

クラブ創立30周年記念式典、及び祝賀会はお陰様で出席者から大変良い評価を頂きました。皆様のご協力に深く感謝いたします。

◆親睦委員会一同

30周年記念行事、大成功でした。本当に思い出に残る一大イベントでした。

● 「みんなニコニコ」

若狭 滋則 会員・小泉 正博 会員・市川 功一 会員
堤 研司 会員・鈴木 次男 会員・徳安 久是 会員
内藤 松雄 会員・高瀬 建夫 会員・会田 公雄 会員

ニコニコボックス	本日	13,000円	累計	731,200円
記念日ニコニコ	本日	5,000円	累計	135,000円

会長報告

戸張 裕康 会長 (6月8日)

◇理事会報告 (6月1日開催)

1. 会長案件

① 青少年交換学生受入について

・川崎市立橘高校へご挨拶：6月7日(水)9時予定
次年度高瀬会長、河合幹事、市川青少年奉仕委員長
・ホストファミリーの選任：本日のクラブ協議会にて話し合いを行います。

② 新会員3名の研修・情報教育実施：

若狭研修委員長を中心として近日中に開催

2. クラブ奉仕委員会より

① プログラムについて (資料) 承認

② 6月8日早朝例会の食事時間と内容について

7:00~7:25 食事 (洋定食)

例会後のお食事希望の方は事務局まで

③ 6月22日(木)ファイナル例会について

会場：田園調布倶楽部 点鐘：18:30

会費：会員1万円 ご家族5,000円

参加者分を例会費から拠出+親睦予算

3. 職業奉仕委員会・社会奉仕委員会 特になし

4. 国際奉仕委員会より

① 6月8日クラブフォーラムの準備品

PC (パワーポイント)・プロジェクター・スクリーン

② ドイツ大使館へ難民支援寄付をお届けする件

6月7日 15:00 ドイツ大使館

クラブからの支援金5万円に加え、有志で寄付を

お願いする。

6. 青少年奉仕委員会より

① 中原中学校 職業講話 6月23日(金) 午後

講話者：徳安久是会員、今井 敬会員

7. 30周年実行委員会より

8. その他

① 前年度書き損じはがきの繰越金 18,406円

新日本学園への寄付方法 今後確認

② 税理士報酬 年間1万円

(法定調書と確定申告書類作成として)

1. 地区からの来信

①ロータリー財団資金推進への協力依頼が届いております。
(抜粋)ロータリー財団年次基金への寄付金の50%が、3年後の地区R財団活動資金の原資となります。近年はクラブからの地区補助金申請が多くなり、満足できる回答をお出しできない場合もあります。将来の活動資金の幅を増やし、皆様からの要望に応えるためにも寄付の重要性をご理解いただき、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

2. 2017-18年度 第1回会長・幹事会開催のご案内が届いております。

日時：平成29年7月4日(火) 18:00～

場所：加賀料理 杉の家やまぐち

※2017-18高瀬会長、河合幹事、ご出席お願い致します。

3. 他クラブ例会臨時変更

●川崎とどろき RC

6月12日(月) 休会

6月26日(月) 富士通川崎工場 20F 点鐘 17:30

●川崎中 RC

6月20日(火) 夜間例会 柿ヶ原精養軒 点鐘 17:30

4. 他クラブ会報の回覧 新川崎 RC

【クラブ協議会】

戸張 裕康 会長

本年度の最後のクラブ協議会になりますので退任の挨拶と、次年度の青少年交換学生を受け入れる件につきまして、皆様のご意見を拝聴したいと思いますので宜しくお願い致します。

山本 剛 クラブ奉仕委員会委員長

私は副会長という立場でもありますが、今年度はクラブ奉仕委員長としての仕事を殆どしてこなかったというのが印象です。会長・幹事の強いリーダーシップでプログラムなどが、理事会などで議論をし、或いは相談しながら進めて行くというのではなく、殆ど事後承認のような形になっており、それ自体を批判しているつもりはありませんが、現実的に従来のようなクラブ奉仕委員会及び、各クラブ委員長の役割を飛び越していたように見え、委員会活動が出来ていなかったように思います。こういう事ならばクラブ奉仕委員会の在り方について一考しなければならないのではないかと思います。

青少年交換学生の受け入れについては、私の家庭では環境的に無理なので皆様にお願ひし、それに協力していくしかなく大変申し訳ないと思っています。

高瀬 建夫 出席・親睦委員会委員長

山本副委員長・高木会員・神谷会員・東出会員・坂本会員、最近入会された渡久地会員・坂口会員・内藤会員と入会年度の若い会員で活動しました。会長の本年度のスローガンの「親睦と感謝」の下、多くの予算を頂き、久しぶりの一泊旅行や、楽しく、そしてコスプレなどで大いに盛り上がった年末家族会も行う事が出来、充実した活動が出来ました。また、期首計画に謳いました、「親睦委員は定刻より早めに来て、笑顔で来訪者や、会員を迎える」をしっかり守っていたように思います。そして、ニコニコ報告や出席報告など、入会して間もない会員にも、マイクの前に立ち、臆することなくしっかりとやっていたいただき有難うございました。

青少年交換学生の受け入れについては、いつもほぼ決まった会員で行っているのが現状ですが、各家庭の条件

などが揃わないとなかなか難しいとは思いますが、クラブの活動の一環ですのでご協力の程宜しくお願い致します。

小泉 正博 クラブ会報委員会委員長

交換学生の件ですが、前回の時は子供2人が家を出ていましたので空き部屋がありました。今回は子供が帰って来るので空き部屋がなく、物理的にお預かりするのは無理な状況です。お許し頂きたいと思っています。

会報については、会長の思い入れもありまして、結構ボリュームのある会報を作成してきましたつもりです。ロータリーを理解していただけるようにと様々なコメントを載せてきましたが読んでいただけましたでしょうか。ロータリーの理念など、IN PUT されていなければならない事柄が、クラブ全体として不足しているように思えたので、「ロータリーを学ぶ」を中心に掲載してきました。読まれた方には、内容も深いものもありましたので、ロータリーの情報として IN PUT されたのではないかと思います。

残念なことは、この委員会のメンバーが企業を立ち上げて間もない忙しい人たちでしたので私一人で作成し、彼らに会報の要領を伝えられなかったことです。

鈴木 次男 プログラム委員会委員長

会長・幹事を含め、会員皆様のご協力を得まして何とか無事に終えることが出来たと思っています。特に、後半は私自身の体調が悪くなってしまい、皆様にご迷惑をおかけし、申し訳ないと思っています。

青少年交換学生については、受け入れる環境がある家庭とそうでない家庭があると思われそうですが、申し訳ありませんが、私の家庭は受け入れる環境がありません。

若狭 滋則 増強・職業分類・選考委員会委員長 研修・雑誌・広報 委員会委員長

会長の掲げた会員数35名には及びませんでした。何とか4名の入会者を得ることが出来、30周年記念式典には、チャーターメンバーの人数と同数の29名で臨むことが出来ました。私自身も、スポンサーとして2名の増強を果たすことが出来ほっとしています。そして研修委員長として、6月の中旬に新会員を含め、任意の研修会を、活性化委員会委員長の市川会員、次年度エレクトの小泉会員に講師をお願いして開催したいと思っています。また、今年度初めの頃に行われた「第2グループ新会員交流会」での若手の人達の印象が強く残っています。これらも研修の一つではないかと思います。雑誌・広報については活動らしいことが出来ませんでした。

交換学生については、そういう環境にないので申し訳ありませんという事しかありません。

市川 功一 クラブ活性化委員会委員長

一年があっという間に経ってしまい、活動が不十分だったなと思っています。そんな中、入会3年未満の会員たちと会合を持つことが出来ました。その意見交換の中で、将来のクラブ運営の改善に役立つ事柄が浮き出てき、大変良かった会合だと感じました。来年も引き続き活性化委員長を仰せつかりましたので、プログラム委員会や、クラブ奉仕委員会と連携しながら、どうしたら魅力的なクラブが

出来るのかを念頭に置きながら活動したいと思っています。

青少年交換学生の預かりについては、10年くらい前の「ニック君」6年前の「ガブリエル君」を預かった経験から、そして今回の台湾からの学生を預かるという立場からお話させていただきます。

まず、交換学生を自分の子として考えてみてほしいと思います。何か他人事のように見ているような感じがします。ご家族と話し合ってみてほしいと思います。絶対ダメという家族もあるでしょう。また、チョットならいいよと言う事あるのではないかと思います。そこで、預かる期間ですが、1週間でもいいと思うのです。1週間だったらチョット無理をすれば何とかかなと考えるご家庭もあるのではないかと思います。1週間とか2週間とかでは引越しの大変なので、身近なものだけをもってチョット外泊の気分でも来てもらい、国際交流を体験するのもいいのではないかと思います。こういうのも一つのアイデアだと思うので、皆さんもご家庭に帰られても一度話し合ってみてほしいと思います。



河合 東 職業奉仕委員会委員長

今年度は職業奉仕について、殆ど活動らしい活動が出来ませんでした。職場訪問も計画はしてみたのですが、中々うまく折り合えず行けず出来ませんでした。

期首計画書にロータリアンの行動規範というものを記載しましたが、会員の皆さまには、この行動規範というものを、もう一度考えてほしいと思っています。

青少年交換については、当クラブが初めて受け入れた時に幹事をやっていたこともあり、何も分からずに手探りの中、何とかやりこなしました。その時、私は山田会員の次にお受けしました。なぜお受けしたかと言うと、自分の息子が高校生の時に、ロータリーとは別ですが、海外に出てホームステイを経験したものですから、その恩返しというわけではありませんが、そのくらの協力はとお願いして家族で受け入れました。しかし受け入れると、その期間は結構動きが取れなくなってしまいます。その時に市川会員がお話されたように少しの期間でも預かってくれるご家庭があると、もう少し気軽に引き受けてもらえるのではないかと思います。また、ご家庭に交換学生と、同じような年代の居るご家庭が、国際交流を考えた場合、理想的かなと思います。先ほどもお話がありましたが、会員が、ご家庭でこの交換学生の事を話されていないケースが多いように思われます。ご自分で結論を出さずに、一度はご家庭でお話をして下さい。

徳安 久是 国際奉仕委員会委員長

上半期は、私自身の仕事の件や、体調の不良などで、活動できず大変申し訳ないと思っています。最後になりまして、国際奉仕活動の卓話や、寄付などで活動が出来たのかなと思っています。来期も引き続き同役を勤めますので、最初から頑張ってみようと思っています。また、先ほど申し上げた寄付の内容ですが、「ユニセフ

に5万円の寄付」「ドイツ大使館へ難民支援として5万円の寄付」を致します。なお、難民支援では駐日ドイツ大使が直接受け取って下さることになったようで、行って参ります。

青少年交換の件ですが、老人介護という家族の問題を抱えておられてお引き受けできないというのが現状で、申し訳なく思っています。将来的には、家族と話し合いながら積極的に参加したいと思っています。



宮崎 玲児 青少年奉仕委員会委員長

期首計画では、中原中学校への職業講話と交換学生でドイツに行っている岩木さんのフォローという事を取り上げました。中原中学校の件は、遅くなりましたが、やっと6月23日に決まりました。また、岩木さんについてはメールのやり取りを通じ、元気に日常を送っている事や、ヨーロッパを回ってきたなどの報告を受けています。

私は、地区の青少年奉仕の活動でRYLAを担当しておりますが、2月18日～19日に横浜市野島青少年センターでの研修会に参加して参りました。

また、副委員長の山田会員の方から、書き損じハガキで集まったお金の使い道について提案がありまして、理事会の承認を得、近隣にある「児童養護施設 新日本学園」という所に寄付をすることになりました。

交換学生についてですが、今のところ家族は反対しておりますが、実際の受け入れしているところを妻にも見てもらったり、学生の話の聞いたり、出来る範囲の努力をしようと思っています。期間が短くてもOKという事は非常に協力しやすいのではないかと思います。

田辺 清夫 ロータリー財団委員会委員長

財団のご寄付の担当をさせて頂いておりますが、今年は為替の変動が激しくてなかなか金額を決定できず、募るのが遅くなってしまい、また、米山の寄付との時期も重複してしまっていて皆様にご迷惑をかけたのではないかと思います。そして、私と原会員が体調を崩し、徳安委員長に両方の寄付を募ってもらったため、お世話をかけてしまい申し訳ありませんでした。来期はこのような事無いよう早くから寄付を募り、期間内に終わらせたいと思います。

交換学生については、孫が海外に出ていたこともあり、受け入れの素地はあると思うので相談してみます。

工藤 和弘 会計

今年度は会長の方針により親睦に50万円の予算を付けさせて頂きました。その結果、親睦委員長の報告があった通り、十分な親睦が図れたのではないかと思います。次年度についても、同じく会計を担当しますが、親睦については今年度と同じような数字に

なると思います。そして、理事会メンバーという事なので良い勉強の機会と思い頑張ってみようと思っています。

交換学生については、あまり縁がなかったことなので自分の家族に置き換えてみるとどうなのかなとは思いました。皆様と違った立場なので中々同じような思いになることはなかったのですが、このような場に参加することによって初めて感じる場所でありまして、私自身も海外に行ってそのような経験をしたかったという思いはあります。私の家族にも同じような年ごろの息子がいますので、家内を含め、ロータリーの事をもっともっと発信していかねばならないと思っています。現実的にはお預かりは無理かなーと思っています。

江口 進 会場監督

入会間もないにもかかわらず重要な職務に付かして頂き、期首計画書に書かして頂いたような事が出来たのはなほだ自信はないのですが、30周年を含め、皆様方のご協力により何とか無事に終わることが出来るのではないかと考えています。一つだけお願いしたいことがあります、例会の始まる2~3分前にはご着席をお願い致します。それはお客様もいらっしゃる事でもありますし、何よりもロータリアンたるもの、気品であるべきだと思いますので宜しくお願い致します。何れにしましても1年間誠に有難うございました。

交換学生については、私自身が独身で、家庭兼職場という環境でもあり、また、家庭を持つことが先決だと思っておりますので、ご理解を頂きたいと思っております。

神谷 直 出席・親睦委員

1年間色々とお世話になりました。次年度は職業奉仕委員長を仰せつかりましたので、良く分からないことも多いのですが、頑張りたいと思っています。また、地区に於いても、拡大・増強委員を務める事になりましたのでこちらも頑張るつもりです。

交換学生の件ですが、まだ話したことがないので帰って家内や家族に聞いてみます。現状は皆さんもご存じのようにまだ小さい子供達です。引き受けについてはご理解をして頂ければと思っています。

東出 隆裕 出席・親睦委員

交換学生の件ですが、暮れにお話を頂いたところ、妻から現状を考えたら無理だと言われていたので、お断りを致しました。しかし、同じクラブ員でもあり、偏ってもいけないのかなーという思いもあり、そういった環境作りも必要なかなーと思いました。今後、努力してみようと思っています。

山田 一之 会員

全ての条件が揃うという事は中々ないと思いますが、受けてみようという気持ちが大切だと思います。男は外に出てしまう事が多いので、結局は内を預かる奥さんの理解が必要で、自分の子供と同じようにする気持ちがないとできません。私の場合は、以前に、川崎市の姉妹都市であるオーストラリアからの留学生を引き受けた経験も有りまして、喜びも悲しみも一緒になって共有することによって分かち合えるという事を感じていましたので引き受けました。何れにしましても大きな気持ちで接触をしていくと、必ずや自分の子供達や孫たちにも、そして自分たち自身にも良い影響をもたらすと思います。これらはすべて積み重ねですので、条件を考えたらきりが無いので、先ず受けてみと

いう事を、奥さんと話し合ってみて、説得して欲しいと思います。我々はロータリアンなのだから。

それから、以前もお話しましたが、会報を含め、ロータリーの広報となるような媒体の場合は、ロータリークラブをRCとは書かずに、きちんとロータリークラブと表記すべきだとも思います。その方が読む人にとって分かり易く、親切だと思います。

内藤 松雄 会員

新会員の内藤です。例会は12:30に始まり13:30に終わると聞いていましたが、気が付けば14:10を過ぎてしまっていて、熱心なのに驚いています。交換学生の件も青天の霹靂のようですが、受け入れてみたいなどは思います。

堤 研司 会員

入会して半年が過ぎました。皆さんの熱心なロータリー活動に感動しています。また、30周年もすごく感動しました。今後も少しでも皆さんの力になれるようにやっていきたいと思っています。

交換学生の件ですが、私の息子も海外に行っていたことがあり、そういう縁があれば受け入れもやってみても良いのかなーと思っています。

都倉 八重子 幹事

交換学生の件ですが、娘が小学校の時、ひと月位の交換留学をしていたこと、また以前所属していたクラブでフィンランドの交換学生を4ヶ月位預かったことがあります。その時は男子でありましたので、男子を育てた経験がなく、理解が出来なく大変な思いをしました。帰国の時の涙を見、それに感動をして、非常に良い経験をしたと思っています。今回の受け入れについては、同時期に、娘の関係でドイツの留学生を受け入れることになっており、またその子が女子なので、今回の台湾の男子を受け入れるのはどうなのかなーという事で、土日などの行動は一緒に出来ると思うのですが、受け入れについては、申し訳ないのですが、またの機会にという事でお願いしたいと思っています。



【プログラムの予定】

- 6月15日(木) 休会
- 6月22日(木) ファイナル例会
田園調布倶楽部 点鐘 18:30
- 6月29日(木) 休会

【ロータリーを学ぶ】

「ロータリー親睦活動は国際奉仕」

6月はロータリー親睦活動月間です。日本のロータリアンは、これをクラブにおける親睦活動と混同、誤解して、本来の意味を理解していない方が大多数のように思います。ロータリーの基盤は親睦(Fellowship)と奉仕(Service)にあつて両者を結びつけるのが寛容(Tolerance)だと創設者ポール・ハリスが語っています。両者は両輪として直進し、最初の動力伝達は親睦からの言葉も残しております。親睦は意義あるロータリー活動の原動力であることを認識し、単にクラブに関してのみ限定されるものではなく、広く世界に友情と親交の輪を広げるための全ロータリアン対象のロータリー親睦活動があることを衆知されたく思います。

ロータリー親睦活動はRIの国際奉仕部門における常設プログラムです。国際奉仕というと、ともすれば従来の世界社会奉仕(WCS)に代表される人道的ボランティア活動であるかのように思われる傾向があります。しかしながら、国際奉仕はロータリーの目的第4項の表現を借りれば、「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」とあるように、ロータリー親睦活動はその一環であります。

6月のロータリー親睦活動月間に因んで述べますと、2014年初め、RFは64のグループがRIに登録されています。日本ではその数は少なく、ヨット、囲碁、切手収集、ランニングとフィットネス(IFRFR)などがあり、趣味とレクリエーションによりそれぞれの目的は異なりますが、すべてのグループが同じ哲学や根底にある思想すなわちロータリーの精神を共有して、世界的規模で活動しております。世界的に新たな友情を育み奉仕の機会を増進するために、ロータリアンと配偶者、ローターアクターのために組織されているのであります。ロータリー親睦活動(RF)についてはRIのウェブサイトでご覧になったり国際大会のブースなどの活動を見て仲間を世界中に見つけて楽しんでみませんか！親睦はロータリーの雰囲気の中でますます深まる。ロータリーでは形式や気取りを去り、身分や地位に関係なく対等の立場で交わるからである。(ポール・ハリス)

(2014年6月6日)

(源流の会：ロータリアンの広場より一部抜粋)